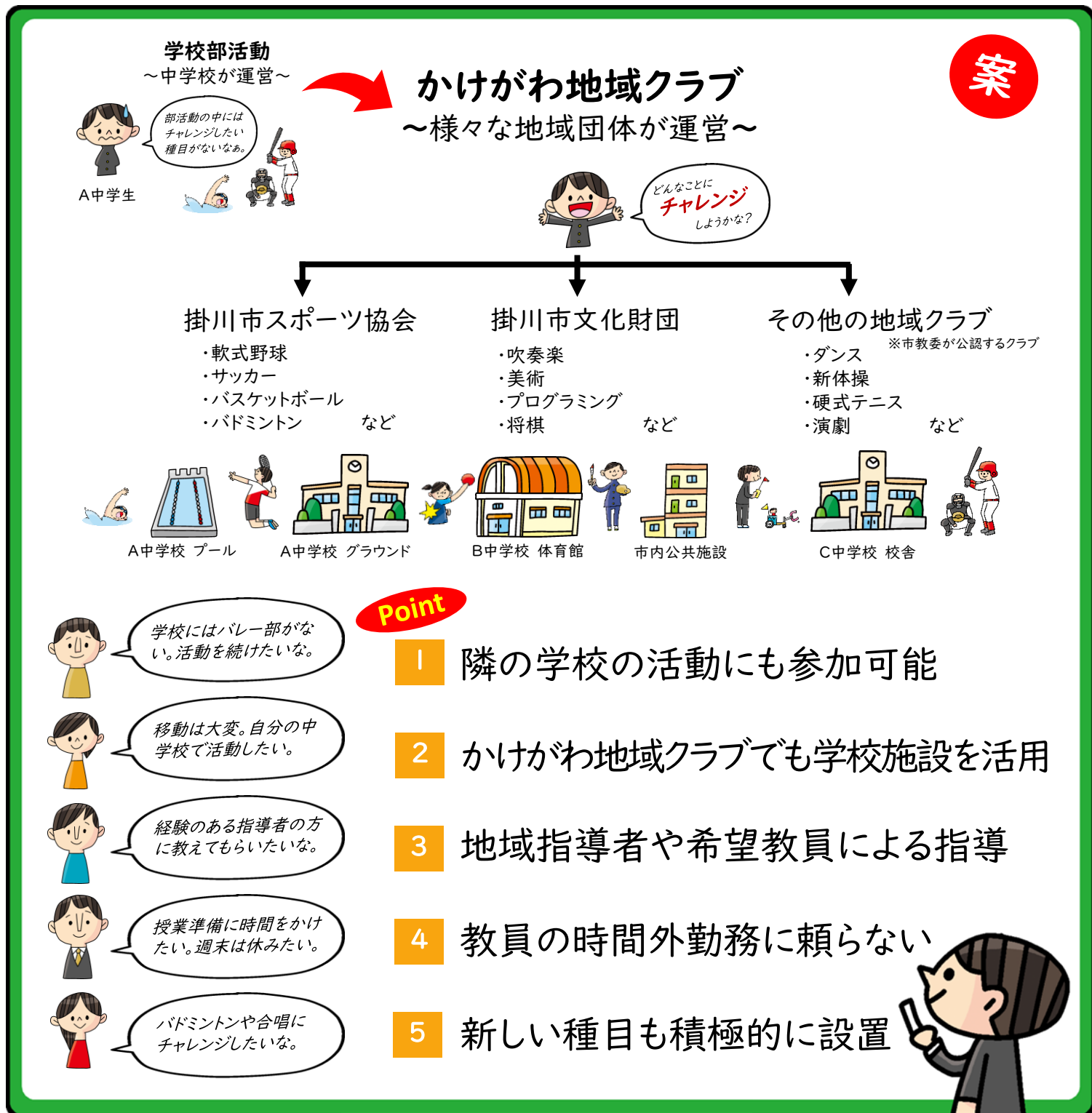


検討中の構想を紹介します

部活動の運営体制を変えることを考えています

～令和8年夏、学校部活動からかけがわ地域クラブ(仮称)へ～

掛川市では、令和8年の夏に、学校が実施する「学校部活動」を掛川市スポーツ協会や掛川市文化財団、地域のNPO団体やスポーツ少年団などの地域団体が実施する「かけがわ地域クラブ(仮称)」へとその運営体制を変えることを考えています。よりよい活動環境を整備するため、皆様の御意見をお寄せください。



1 いろいろな種目から選べる

かけがわ地域クラブは、様々な種目からやってみたい種目を選び、その活動が行われる場所を選択する仕組みとする予定です。種目によっては、隣の学校で行われる活動に参加することもできるようになります。

2 自分に合ったペースを選べる

仲間とその種目の活動を楽しみたいという人、競争や試合などを通してその種目のスペシャリストになりたいという人、それぞれが納得できる活動の場を設けることを考えています。

3 複数の種目にチャレンジできる

「スポーツに打ち込み、音楽を楽しむ」「野球を楽しみ、陸上競技の記録にも挑戦」など、複数の種目にチャレンジできる活動も考えています。

4 経験のある指導者から教えてもらえる

指導者はその種目の経験のある地域の方です(指導を希望する教員は地域指導者として関わります)。安全、安心、短時間で効率的に活動の楽しさを実感できます。

5 活動時間を柔軟に設定できる

夏は夕方、冬は夜間、といったように日没時間に合わせて、活動時間を柔軟に設定できるようにする予定です。学校部活動では難しかった冬季の活動時間の確保ができるようになります。

6 新しい種目にチャレンジできる

バドミントンやプログラミング、将棋など、学校部活動にはなかったような種目の活動ができる環境も整備していく予定です。

かけがわ地域クラブの課題

1 指導者の確保

これまでの学校部活動は、経験の有無を問わず、いずれかの教員が顧問を務めていました。かけがわ地域クラブは、活動を支えるための十分な数の指導者やサポーターなどのスタッフを集める必要があります。

2 活動費用の負担

かけがわ地域クラブを実施するためには、指導者の謝金や会場費、用具購入費、運営事務局の人件費などが必要です。参加する御家庭に費用負担をお願いしなければなりません。

3 活動会場までの移動

各中学校の体育施設や校舎を有効に活用することを考えていますが、希望する種目や住んでいる地区によっては、隣の学校や市内公共施設までの送迎が必要です。

4 生活スタイルの変化

種目によっては、夕方ではなく、夜間に活動することも考えています。その場合、塾などの習い事との調整が必要になります。

5 大会運営

大会の審判や運営など、その多くの業務を教員が担っていた種目もあります。子どもたちの成果発表の場を維持するためには、大会運営に関わってくださるスタッフが必要になります。

様々な課題はありますが、よりよい環境づくりへ向けて解決方法を考えています。



Q. どの学年の子どもが関係するのですか？

令和4年度	小6	小5	小4	小3
令和5年度	中1	小6	小5	小4
令和6年度	中2	中1	小6	小5
令和7年度	中3	中2	中1	小6
令和8年度	—	中3	中2	中1



A. 今年度、小学4年生の子どもは、中学2年生のときに新しい体制に移行します。スムーズな移行ができるような方法を検討しています。

次号Vol.2以降で、この他の疑問にお答えしていきます。
(Vol.2は10月28日公開予定です)



質問や意見はこちらへ



意見・質問フォーム

